

# 山口県の植物さんぽ③

## 角島の海岸（冬）編



「ほっとやまはく」  
タイム③

ようやく春の気配を感じることができるようになったこの季節、植物もあちらこちらで芽吹いたり、花を咲かせたりするようになっています。ということで、今回は



咲き始めのイワタイゲキ  
（後方が角島灯台方面）



ヨモギの仲間には見えない春先のカワラヨモギ



海岸をはうように広がるハマエンドウ

県北西部にある角島（下関市）の牧崎で観察できる、春の植物に注目してみたいと思います。角島は有名な観光地になっているので、行ったことがある人もいるかもしれません。角島大橋を渡って島の西側にある角島灯台（2020年に国の重要文化財に指定）の周辺を見て帰る、という人が多いのではないのでしょうか。そこもちろん素晴らしい景観なのですが、角島大橋側の島内最北端にある牧崎という所（牧崎風の公園）も、六角形の柱が集まったように見え

る柱状節理が海岸に見られるなど独特の景観で、さまざまな海岸性の植物が見られます。ただし、道は一部に狭い部分があるので注意してください。

海岸の岩場が好き！  
イワタイゲキ

イワタイゲキ（岩大戟、トウダイグサ科）は、海岸の岩場に生える多年草で、群生して株立ち状になるので、殺風景な岩場の上ではなかなかの存在感があります。花期は4月から6月なので、これから次第に茎の先に黄色い花を咲かせます。

海岸の砂地が好き！  
カワラヨモギ

カワラヨモギ（河原す。

蓬）は、キク科の多年草で、河原や海岸の砂地などを好みます。春先の姿は、写真のように一般的なヨモギのイメージとは程遠く、背が低く葉に毛が密生しているので全体的に白っぽく見えます。夏になると花茎が伸びてヨモギらしく？なり、寄生植物のハマウツボの姿が見られるようになります。

ハマエンドウ

ハマエンドウ（浜豌豆）は、その名の通り、海岸の砂地に生えるマメ科の多年草です。写真では分かりにくいのですが、葉はやや白っぽく（粉白色）、花はエンドウに似ていて、野原でよく見掛けるカラスノエンドウ（ヤハズエンドウ）の仲間よりかなり大型で目立ちます。

日当たりのいい開けた場所が好き！  
フデリンドウ

フデリンドウ（筆竜胆）は、花やつぼみが筆の形に似ていることからその名が付いたリンドウ科の2年草です。花期は4月から5月で、秋に秋吉台などで見られるリンドウとは大きく異なります。似た花にハルリンドウがあり、根生葉の付き方、花茎の色や広がりなどで



足元でかれんな花を咲かせるフデリンドウ



角島で見掛けたハヤブサ  
（2013年撮影）

区別できます。フデリンドウは、牧崎の強風に負けずにかれんな花を咲かせますが、リンドウと違ってかなり小さいので、足元をしっかりと見ていないと気付かないかもしれません。

角島の植物では、牧崎で晩秋に咲くダルマギクや角島灯台の辺りで初夏に咲くハマオモト（ハマユウ）が有名で、それぞれ大切に保護されています（幸いにも今でも

ですが、他にも季節ごとにさまざまな植物が見られます。また、角島は日本海に突き出ている地形なので、渡り鳥の休憩場所になっているので、多くの種類の鳥が見られます。過去には、運よく猛禽（もろきん）類のハヤブサ（鷹）をすぐ近くで見かけたこともありました。あまりにも近過ぎて最初はカラス？と思ったくらいで、気付いた時にはびつくりしました（幸いにも今でも

杉江喜寿（学芸専門監  
兼学芸課長）  
▽次回は22日です。

山口県立山口博物館  
TEL 083-922-0294  
月曜休館（祝日の場合は翌日）。  
最新情報はホームページで

